

平成27年10月15日(木)

老球の細道172

## バスケットボールの魅力を伝えるコーチ

会津バスケットボール協会 室井 富仁

ラグビーの世界カップ・イングランド大会で日本代表がラグビー史上に残る鮮烈な記録を残した。この大記録を達成することができたのは「眠らない男」の異名をとり、誰よりも働き、W杯の勝利にこだわったエディ・ジョーンズ・ヘッドコーチの指導力によるところが大であると言われる。マスコミでは「鬼の名将が勝てる日本に変えた」と。

競技力向上を目指すスポーツでは指導者の存在は大きい。しかし、日本の現状は、コーチングに必要な知識・技能を十分に習得していない、競技種目の知識・技能を十分に学ばない、昔ちょっとかじっていた「昔の名前で出ています公認コーチ」が幅をきかす。そのために選手や時代のニーズに合う十分なコーチングがなされていない。

日本体育協会では、このような現状と課題をふまえて、「新しい時代にふさわしいコーチングとは、競技者やスポーツそのものの未来に責任を負う社会的な活動であることを常に意識して行われるもの」という方針をもとに、望まれる「グッドコーチ像」育成のためのカリキュラム育成に取り組んでいる。日本体育協会発行機関紙『スポーツジャパン』(2015・7-8月)から「グッドコーチ像」とオレ流コメントを紹介したい。

### ■スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人

バスケットボールが飯の次に好き。バスケットボールの意義と価値を理解し、周囲に伝えられる。バスケットボールプレーヤーが大好き。バスケット談義で飲み会ができる。

### ■グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなバスケットボール文化の創造やバスケットボールの社会的価値を高めることができる人

「バスケットボールを通して人生の全てを学んだ」とプレーヤーに言わしめる。

### ■プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自分自身を振り返りながら学び続けることができる人

コーチは学ぶことをやめたときコートを去る。プレーヤーのニーズ充足のため、卓越した専門知識の習得のために絶えず自己研鑽に励む。極めることに終わりはない。

### ■いかなる状況においても、前向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長できる人

逆境、困難こそ自分を鍛えてくれるチャンスとポジティブ思考を携えながら、目に見えない報酬の「自分自身の人間的成長」を目指して日々真摯に努力を継続する。

### ■いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人

プレーヤーズファーストで相互にリスペクトする。「怒り」は豚の餌にくれてやり、「信」のウェアに身をつつみ、「忍」の椅子に腰をおろし、泣くまで待とうホトトギス。

### ■プレーヤーを社会の模範となる態度、行動をとれるように導くことができる人

プレーヤーが社会、学校のロールモデルになることによって、バスケットボールの社会的認知度が高まり注目される。その結果、競技人口の増加につながり競技力が向上する。

### ■プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者が、お互いに感謝、信頼し合い、協力・共同・協調できる環境をつくることができる人

皆が勝たせてあげたいと思うチームが最後に勝つ。偉大なことは一人ではできない。